

「元気で活力のあるまち」を

目指して！

平成20年度当初予算を編成

市民のみなさんの知恵とエネルギーを
結集し、参画と協働によるまちづくりを
基本として、「元気で活力のあるまち」を
目指す「魅力・再構築プラン」、「安心し
て快適に暮らせるまち」を目指す「安心
都市プラン」、「安全で夢のあるまち」を
目指す「教育都市プラン」の3つの政策
目標を重点に、平成20年度の当初予算を
編成しました。

以下、3月定例市議会での市長所信表
明（抜粋・要旨）とあわせて、予算の主
な内容について紹介します。

「美しい自然と共生する快適なまちづくり」

自然環境の保全と利活用

本市は、恵まれた自然環境の中で、自然と調和した営みが繰り広げられてきました。今後、この環境を次の世代に継承していくため、環境保全、環境資源の有効活用積極的に取り組んでいきます。

今年度は、環境資源の活用として「わに塚の桜」をライトアップし、夜空に浮かび上がる素晴らしい夜桜を、市民の

みなさんや観光客の方にも楽しんでいただくにあたり、市指定の文化財であることから、



自然環境にも充分配慮した上で、この地域の活性化に繋がっていきたくと考えています。

また、浄化槽設置補助とともに、生ごみ処理機購入費などへの補助を継続し、ごみの減量化や堆肥化など、リサイクルの推進を図り、循環型社会の構築を目指していきます。

住み良い快適な都市の実現

下水道につきましては、竜岡町坂の上地区、真葛地区、石宮地区の一部並びに大草町西の割地区の一部を整備して

いきます。

また、上水道につきましては、甘利浄水場築造に伴う設計、並びに甘利第3配水池の改築に向けての用地確保や設計業務など、安全・安心な水を将来にわたり供給していくため、向こう10年間を目標とした「葦崎市地域水道ビジョン」を作成し、水道水の安定供給を図ります。

住宅の整備

北下条住宅につきましては、外壁改修、自動火災報知機の設置など計画的な改修に着手します。

また、個人住宅の取得支援のため、持家住宅普及促進支援を3年間延長し、住環境整備と定住化促進に努めます。

道路の整備

市民の日常生活に必要な道路の改良や舗装につきましては、優先順位を定め、整備を進めていきます。

また、青坂ループ、穂坂橋周辺、石宮地区の県道改良工事に

つきましては、県と一体となり早期完成に向け取り組んでいきます。

公共交通網の整備

市内を運行している市民バスをはじめ、路線バスの運行を全面的に見直すため、協議会を設置します。



本市に最も適した効率的・効果的な交通システムなど、バスに関する各種調査を行い総合的な観点から運行計画を策定することで、市民のみなさんの意向を反映したバス交通網の整備に努めていきます。

安全な地域社会の実現

「葦崎市国民保護計画」に基づき、国民保護関連情報を瞬時にお知らせするため、警報システムの整備を進め、市民の安全を守ります。

また、地震の発生や規模の特定を行い、大規模地震による人的被害を最小限に抑えるため、庁舎内に緊急地震速報受信装置を整備し、地域防災力の強化と安全・安心なまちづくりに努めます。

自然を活かす環境共生社会の実現

観光施設管理事業	691万7千円
廃棄物処理対策事業	6,108万9千円
資源リサイクル推進事業	1,585万円
峡北広域事務組合(ごみ処理)負担金	4億9,488万9千円
バイオマス利活用事業	1,170万3千円

住みよい快適な都市の実現

上水道施設等整備事業	6億7,512万7千円
塩川ダム水受水費(峡北広域水道企業団)	3億5,674万1千円
公共下水道整備事業	7億8,643万1千円
浄化槽設置促進事業	1,820万8千円
市営住宅管理事業	6,226万円
持家新築住宅建設促進利子助成事業	1,080万円
アスベスト飛散防止対策事業	406万円

快適な生活を支える都市基盤の整備

道路橋梁維持事業	4,110万9千円
市単独道路整備事業	1億8,634万8千円
古川左岸道路整備事業	8,120万円
市民バス委託運行事業	4,023万6千円
赤字バス路線維持対策事業	759万6千円
公共交通対策事業	336万9千円

安全な地域社会の実現

河川・水路整備事業	2,924万8千円
災害対策事業	3,519万6千円
全国瞬時警報システム設置事業	674万1千円
緊急地震速報整備事業	60万4千円



「多彩な産業が発展するまちづくり」

地域の特性を活かした農業の展開

特色のある地域農業の育成と遊休農地を解消するため、大豆やクレソンなどの栽培を促進するとともに、農作業の効率化・軽減化を図るため、大豆脱粒機などを導入します。

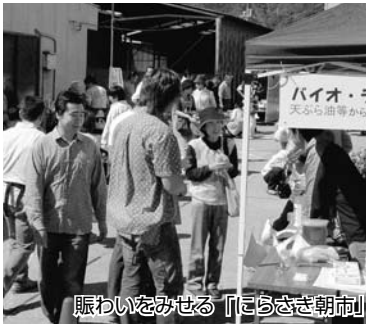
また、長年、地域のみなさんから強い要望がありました「穴山町ふれあい体験館」を建設し、地域の交流拠点としていきます。

そのほか、農道や水路など、農業基盤の整備につきましても計画的に推進していきます。

賑わいと活力ある商工業の展開

中心市街地活性化対策については、「荊崎市まちなか活性化計画」を策定し、新規出店を支援するための商店街空き店舗対策を行っていくとともに、

カタクラ工業跡地の大型商業施設



賑わいをみせる『はらさき朝市』

設出店計画に併せ、市道荊崎4号線を中心に富士見バイパスへ連なる区域一帯の環境整備を行い、人が集まり賑わいを創出する「人の来るまちづくり」に努めます。

また、商店街の方々により運営されている「にらさき朝市」の業種やエリアを拡充するとともに、市民のみなさんが参加できるフリーマーケットの併設など、市街地の活性化に努めていきます。

企業誘致および企業立地支援

「荊崎市企業立地支援条例」に基づく助成制度の継続はもとより、「山梨県産業活性化協議会」での誘致活動にも積極的に参加し、企業立地のための候補地を選定していきます。

新たな取り組みとして、東京都で開催されている企業誘致フェアに、本市のブースを設け、積極的な情報発信と企業動向の把握を行い、企業誘致活動の強

化に努めます。さらに、地場企業に対しても定期的な企業訪問や情報交換を行い、企業ニーズの把握と行政対応の迅速化を図り、地元企業の支援策や、他地域への移転防止にも努めていきます。

また、中小企業者の支援策として、公共工事の前払い金の請負金額を100万円に引き下げ、条件を緩和し、前払い限度額を撤廃するとともに、新たに中間前払い金制度を導入するなど、中小企業者の円滑な資金繰りを支援します。

観光

4月から3か月間、「山梨ステイネーションキャンペーン」が実施され、大勢の観光客の来県が予想されます。

本市では、これに合わせ、花の名所である「新府桃源郷」や「わに塚の桜」、武田家ゆかりの史跡など「武田の里にらさき」をPRし、誘客活動に努めます。



地域の特性を活かした農林業の展開

土地改良施設維持管理適正化事業	78万円
県営畑地帯総合土地改良事業	1億6,750万円
小土地改良事業	7,792万9千円
穴山町林業体験施設建設事業	1億932万3千円
生産調整推進対策補助事業	2,680万円
有害鳥獣駆除対策事業	344万4千円
遊休農地解消事業	340万7千円
歴史と景観をおりなす里づくり事業	237万3千円
塩川地区圃場整備事業	6,562万9千円
松くい虫防除事業	2,685万5千円
里山獣害対策森林整備モデル事業	374万円
自然森林道整備事業	459万3千円

賑わいと活力のある商工業の展開

一般商工振興事業	989万9千円
商工団体育成事業	611万3千円
まちなか活性化推進事業	755万6千円
武田の里ブランド管理事業	60万5千円
企業立地支援事業	611万3千円

多彩な地域産業の育成・雇用の促進

観光宣伝事業	694万5千円
観光振興事業	868万7千円
荊崎市武田の里まつり補助事業	1,468万円
荊崎市勤労青年センター運営事業	782万6千円
高齢者労働能力活用事業	587万8千円

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」

健康づくりの推進

医療制度の大幅な改正に伴い、国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の予防を主とした特定健診や特定保健指導と併せ、人間ドック、がん健診、脳ドック、骨そしょう症検査、後期高齢者健診なども実施し、市民の健康づくりと受診体制の充実につなげます。

また、昨年大流行した「は

しか」の感染拡大を防止するため、引き続き予防接種費用の助成を行います。

さらに、輸入食材の多様化や外食の機会が増すなど、食の安全性や食に対する知識など、正しい食生活の習慣を身につけていくため、食育推進計画を策定します。



医療体制の充実

今、全国的に医師の確保が非常に困難な状況にあります。が、市立病院では、平成20年度より消化器専門医の常勤医師2名を、新たに配置できる見通しです。

また、オーダーリングシステム（電子伝票システム）を導入し、医療現場並びに診療計算事務などの効率化を図



り、来院者の待ち時間の短縮や医療サービスの向上を図っていきます。

生きがいをもって暮らせる福祉社会の実現

高齢者並びに障害者の方々が自立し、生きがいを持って暮らせるよう、健康づくりや社会参加の支援と、各種福祉施策の充実を図っていきます。

また、施設利用者の食費についての負担軽減や、在宅介護者家族へのショートステイ施設利用料の一部助成、レンタルカーリース料の助成など、介護者家族を支援し、心身の負担を軽減していきます。

子育て支援体制の充実

本市では既に、国保加入者の子ども医療費の助成について、医療機関での窓口無料化を実施していますが、4月より実施される山梨県単独医療



費助成制度により、これまでの加入者についても、ひとり親家庭並びに重度心身障害者の医療費を含め、原則、窓口

無料化を実施します。また、「すこやか赤ちゃん出生奨励祝金」についても、期限を延長し、安心して子どもを生み育てることができるよう環境づくりに努めていきます。保育園につきましては、多様化する保育ニーズに対応していくとともに、ハード・ソフトの両面において保育環境の整備に努めていきます。

安心できる社会の整備

市民が安全・安心に生活できるよう、これまで消防団各部に可搬式小型動力ポンプ積載車を配備するなど、装備の充実を図ってきましたが、人的整備として、昼間、市内に在住し、消火活動に従事できる支援者を確保して、地域の消火力、防災力の強化を図っていきます。

健康な生活を支える保健・医療の充実

人間ドック事業	231万7千円
予防接種事業	3,899万2千円
特定健診・特定保健指導事業	1,101万7千円
高齢者健診事業	368万2千円
がん検診事業	4,490万2千円
健康ふれあいセンター管理事業	3,231万6千円
韮崎市立病院運営事業	25億7,186万6千円

生きがいをもって暮らせる福祉社会の実現

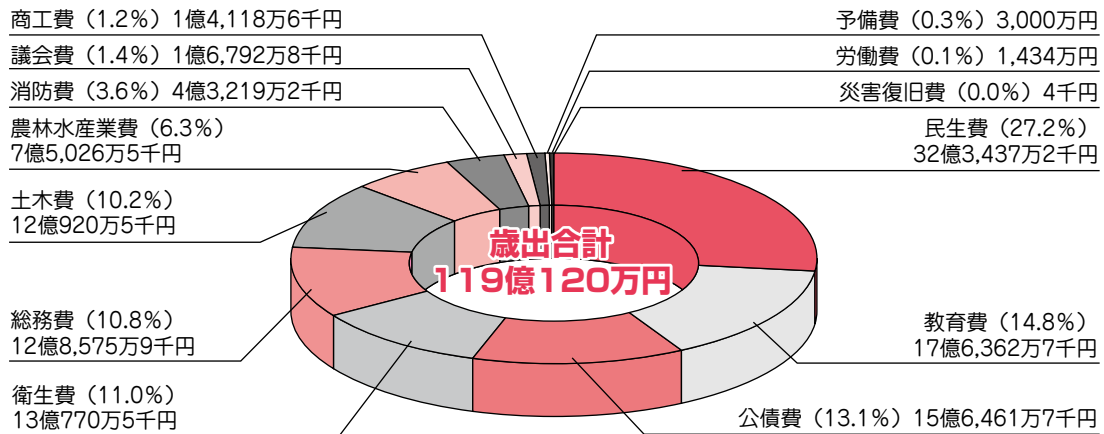
福祉の日記念まつり開催事業	270万6千円
特定高齢者把握事業	521万4千円
地域介護予防活動支援事業	780万9千円
みんなで支える地域福祉推進事業	1,868万円
ことぶき長寿記念事業	1,156万3千円
老人福祉センター管理運営事業	1,315万8千円
老人保護措置事業	7,575万4千円
高齢者保健福祉計画等策定事業	252万5千円
静心寮運営事業	4,701万3千円
障害者居宅介護等支援事業	1億89万1千円
重度心身障害者医療費助成事業	1億1,760万8千円
乳幼児医療費助成事業	1億969万9千円
ひとり親家庭医療費助成事業	1,434万9千円
児童センター運営事業	3,233万9千円
子どもをすこやかに産み育てる環境づくり事業	2,490万円
保育所運営事業	5億7,283万3千円
地域子育て支援センター運営事業	1,148万9千円
児童手当施行事業	3億84万円
児童扶養手当施行事業	9,188万8千円
母子健康診査事業	1,185万4千円

安心できる社会の整備

生活保護施行事業	2億3,425万円
中国残留邦人生活支援給付事業	2,014万5千円
在日外国人高齢者等福祉給付金支援事業	36万円
国民健康保険運営事業	33億9,140万円
老人保健運営事業	2億3,407万1千円
山梨県後期高齢者医療広域連合負担金	2億532万1千円
介護保険運営事業	16億8,824万6千円
峡北広域行政事務組合（常備消防）負担金	3億741万2千円
消防団運営事業	5,643万5千円
消防協力員設置事業	120万円
消防施設維持事業	996万3千円
消防施設整備事業	669万円



平成 20 年度当初予算（歳出）



まちづくりは、「人づくり」からを基本に、ふるさとを誇りに思える生涯学習を実現するため、学習環境の支援や社会教育関係団体の育成に努めるとともに、ス

生涯学習の推進

「豊かな人間性とふれあいをはぐくむまちづくり」

スポーツ施設の整備や社会体育団体の育成など生涯スポーツの振興を図っていきます。



創造と活力を生む生涯学習社会の構築

地区公民館運営事業	3,233万9千円
武田の里ライフカレッジ支援事業	212万3千円
武田の里ウォーキング事業	710万円
総合運動場管理事業	2,304万3千円
御勅使サッカー場管理事業	961万2千円
中央公園芝生管理事業	1,146万4千円

たくましさやささしさのある児童生徒等の育成

私立幼稚園奨励補助事業	928万円
安全・安心なまちづくり事業	2,019万1千円
小学校運営事業	1億4,866万円
中学校運営事業	6,984万9千円
中学校遠距離通学費補助事業	955万6千円
地域に根ざした学校給食推進事業	101万円
葦崎西中学校改築事業	7億3,936万6千円
武田の里わくわくサマースクール開催事業	56万円

継承し創造する市民文化の醸成

文化ホール管理運営事業	1億335万1千円
美術館運営準備事業	103万1千円
史跡新府城跡環境整備事業	2,400万円

義務教育の充実

また、これまで多くの方に親しまれてきた「武田の里婦人大学」につきましては、創立30周年を契機に「武田の里ライフカレッジ」と名称が変わり、内容も大幅にリニューアルし、時代にマッチした実力派講師の講演はもちろん、生涯にわたって楽しく学べる場を提供していきます。

葦崎西中学校につきまして



平成20年1月に完成した葦崎西中学校新校舎

地域文化の創造・継承

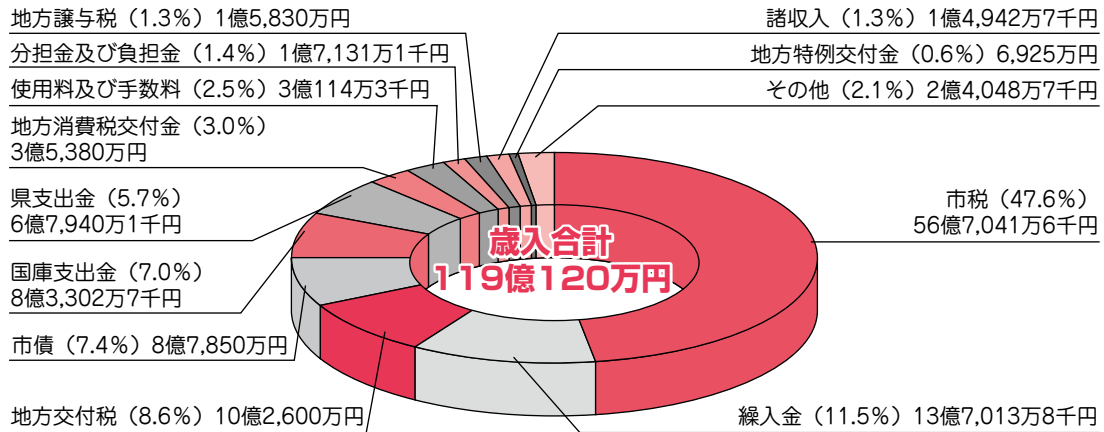
平成20年度をもって、子供たちの教育環境面での事業が総体的に整備され、学校教育における安心・安全で充実した環境が図られます。

平成17年度より実施しています新府城跡環境整備事業につきましては、中掘跡を整備し、「武田の里にらさき」にふさわしい歴史的風土を生かしたまちづくりを努めます。

は、本年1月から新校舎での授業を行っています。平成20年度には体育館、武道館、プール、グラウンドなどの整備を行い、全ての事業が完了する予定です。

葦崎北東小学校では第2音楽教室、パソコン教室が3月に完成し、穂坂小学校並びに甘利小学校の図書館にエアコンを設置するなど、施設整備に努めるとともに、教員にパソコンを順次、整備していきます。

平成 20 年度当初予算（歳入）



市民参画のまちづくり

公共奉仕活動支援事業	245 万円
広聴広報事業	1,695 万円
男女共同参画社会づくり事業	138 万 9 千円

ふれあいと交流のある地域社会

地区活動推進事業	2,365 万 7 千円
国際交流事業	402 万 2 千円

効率的な行財政運営

長期計画策定事業	565 万円
長期債元金償還金（補償金免除に伴う借換債）	5 億 3,247 万 8 千円
賦課徴収事業	3,596 万 7 千円
行政アドバイザー設置事業	163 万 8 千円
庁舎管理事業	6,448 万円



国の地方分権改革は一層本格化し、地方財政は依然厳しい状況にあります。地方分

行政改革の推進

国は、地方分権改革の一翼を担う人材の育成を図っていきます。

姉妹都市フェアフィールド市とは、市民のみなさんをはじめ、中・高校生の相互派遣活動を行い交流を深めています。今後も異文化体験を通じ、本市の国際化の一翼を担う人材の育成を図っていきます。

国際交流の推進

実施しながら、計画策定に向け取り組んでいきます。



「まちづくりワークショップ」での作業の様子

信表明より要旨・抜粋

以上が、平成20年度の施策についての考えであります。地方財政は大変厳しい環境下であります。限られた財源の中で、さらなる市民サービスの向上と、「夢と感動のテーマシティ・にらさき」の実現のため、渾身の努力を傾注してまいります。

「夢と感動のテーマシティ・にらさき」の実現へ

また、地域の課題解決や個性豊かな地域づくりに、市民のみなさんが主体となり取り組んでいける社会を構築するため、市民と行政が一体となった協働によるまちづくりを進めていきます。

権時代にふさわしい「自立したまちづくり」を進めるため、行財政基盤の強化、事務事業の見直し、財源確保など、財源の効果的・重点的な配分に努め、財政健全化を図ります。職員の能力開発と人材育成の推進については、平成21年度より全職員を対象とした人事評価制度を導入することとし、平成20年度は、この制度導入に向けた試行期間として実施してまいります。

「市民と行政が協働するまちづくり」

第6次長期総合計画の策定

社会環境の変化や地方分権の時代に対応した活力ある地域社会を実現するため、「葦崎市第6次長期総合計画」策定への取り組みが始まっています。

長期総合計画とは市の最上位の行政計画として、長期的な視点に立った地域の将来像と、これを実現するための10年間の指針を定めるものです。計画には市民のみなさんのご意見を反映するため、市民の方々に構成される「葦崎市長期計画審議会」や「まちづくりワークショップ」などを



効率的で健全な行財政運営のため

財政・公営企業経営健全化計画を策定

国の三位一体改革により、地方交付税の縮小や国庫補助金の削減など地方財政は依然厳しい状況にあります。このような状況の中で、財政の健全化や将来の市民負担の軽減を図るため、市では「財政健全化計画」「公営企業健全化計画」を策定しましたので概略を公表します。

地方公共団体の財政の健全化を図ることを目的に、平成19年6月、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（地方公共団体財政健全化法）が公布されました。

市ではこのたび、高金利時代に借り入れた起債（借金）の繰上償還を行うことで経費削減を図るなど、「財政健全化計画」・「公営企業健全化計画」を策定しましたので概略を公表します。

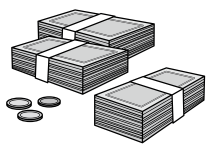
なお、詳細については、ホームページをご覧ください。

■計画期間
平成19年度～平成23年度までの5年間

財政健全化計画

■基本方針

新たな行政需要や厳しい財政状況、さらには地方分権の推進に的確に対応するため、目標の数値化や具体的な指標を用いた健全化計画を作成します。そして、この目標を達成するため、市税等の徴収率向上対策による自主財源の確保や、財政規律とコスト意識をもった行政経営に



より、財政の健全性を確保し、市民本意で質の高いサービスの提供を図るようになります。

■主な経営課題と取り組み

◇税収確保

夜間納付・相談窓口などの徴収強化体制の継続実施や、積極的な企業の誘致による財源確保を目指します。

◇経費抑制

旅費・消耗品費など行政管理経費の削減、委託料の徹底した分析や指



定管理者制度の導入促進をします。また、給与水準・定員管理の適正合理化についても、各年度の事業量などを見極め、退職者不補充や職員の配置転換、組織・機構の柔軟な見直し、ITの活用による業務の簡素化など、経費削減を図ります。

◇公営企業・特別会計等繰出金各事業の経営改善、全体計画の見直し、収入の適正化などへの取り組みを踏まえ、繰出金の抑制を図ります。

■お問い合わせ

企画財政課財政担当

(内線353・354)

公営企業経営健全化計画

市立病院事業経営改善計画

■基本方針

医療保険制度や診療報酬の改定、医師不足など医療環境が変遷する中、地域の中核病院としての責務を果たすため、事業内容の見直しや、経費削減、業務の効率化を図るとともに、収入確保に努め、安定した経営基盤を確立します。

■主な経営課題と取り組み

◇常勤医師の安定確保
診療体制の維持、および病院経営安定のため、常勤医師の確保に向け、派遣元である山梨大学医学部医局への働きかけなどに努めます。



◇病床再編および看護基準の格上げ

稼働率の低い病床について、再編や要員配置体制の見直しを行い、人材の有効活用と患者に対する手厚いサービスが出来るよう、看護基準を格上げします。

◇業務外部委託の促進

業務の効率化、患者サービスの向上のため、業務の民間委託を促進します。

◇病棟大規模改修および医療機器の整備

施設・設備の老朽化に加え、求められる施設機能の高度化への必要性から、病棟の改修工事を行います。また、患者の医療ニーズに添えるべく、医療機器を整備します。

さらに、病院事業経営の総合的な改革に取り組むため、平成20年度に公立病院改革プランを策定します。

■お問い合わせ

市立病院事務局
総務担当
☎ 2211221

水道事業経営健全化計画

■基本方針

水需要の伸び率の鈍化に伴う給水収益の伸び悩みや、老朽化に伴う施設更新への対応、ダム水受水費の値上げなど、今後も水道事業の経営は厳しい状況が予想されます。

このため、行政改革集中改革プランに基づき、給与費の適正化を図るとともに、具体的な指標を活用した経営健全化計画を作成し、料金改定による収入の確保や、維持管理費などコストの低減に取り組み、安全で安定的な水供給サービスを提供していきます。

■主な経営課題と取り組み

◇料金水準の適正化
料金回収率（供給単価/給水原価×100）の改善を図るため、水道料金改定を実施します。

◇維持管理費などの低減

予備水源への電力供給の一時休止や、ダム水の武田橋通水による動力費、契約方法の見直しによる委託料などのコスト低減を図ります。

◇一般会計繰入金削減

料金改定による営業収入の



平成19年度に完成した甘利地区への送水管（武田橋）

認可計画の見直しを行ったことで、今後の整備計画を再検討し、より経済的・効率的な整備を実施していきます。

また、「韮崎市公共下水道事業特別会計経営健全化計画」を作成し、接続率（加入率）、収納率の向上を目指し、収入確保に努めます。

■主な経営課題と取り組み

◇接続率の向上
本市の平成18年度末の接続率は約70%と、決して高い水準とはいえません。今後、広報やホームページにおいて下水道への接続を呼びかけるなど、接続率の向上に努め、料金収入の増収を図り、健全な運営を目指します。



◇自主財源の確保

市の行財政改革プランに基づき、広告料収入の確保を図ります。

■お問い合わせ

上下水道課水道管理担当
(内線6166618)

公共下水道事業特別会計
経営健全化計画

■基本方針

平成19年度において、本市の下水道事業全体計画、事業

■お問い合わせ

上下水道課下水道担当
(内線613・614)